

第1回宇治市公共下水道事業懇話会議事録

会議名	第1回宇治市公共下水道事業懇話会
日時	令和7年7月11日（金） 15時00分～17時00分
場所	宇治市産業会館 1階 多目的ホール
出席者	委 員 西垣会長 森田委員 山田（秀）委員 居原田委員 水田委員 山田（貴）委員 吉田委員 樋口委員 藤本委員 （欠席）中川委員 事務局等 松村市長（挨拶後、公務のため退席） 蒲原上下水道部長 岡部上下水道部副部長 大井上上下水道部 技術参事 川北上下水道総務課長 大下営業課長 船川下水道 計画課長 藤井水管理センター場長 平木治水対策課長 西田 下水道施設保全課副課長 中村下水道計画課副課長 川崎上下 水道総務課総務係長 齊田上下水道総務課主任 塩田上下水道 総務課主任 他 傍 聴 者 1名（報道含む）
1 開会 2 委嘱状交付（市長から各委員へ） 3 市長挨拶 4 委員紹介、会長の選出 （会長：西垣委員、職務代理：山田（秀）委員） 5 議事 （1）「宇治市公共下水道事業経営戦略」および 「宇治市公共下水道整備・再構築計画」の中間見直しについて 事務局より、宇治市の公共下水道事業について説明を行った。（資料5） 質疑応答 （委 員） P.13 では50年超過した管渠は約24km（全体の4.3%）となっている が、P.7 では公共下水道が始まって50年経過していないと説明があっ た。どのように理解をすればいいのか。 （事 務 局） P.13 の赤色の棒グラフはコミュニティプラント地域から引き渡しを受け た下水道施設の延長を表している。公共下水道事業を開始する際、コミ ュニティプラント地域の下水道管渠をすべて公共下水道事業が引き継い でおり、これらの管渠が設置から50年を超過している。	

第1回宇治市公共下水道事業懇話会議事録

- (委 員) 令和5年の汚水処理原価が他団体と比べてかなり違うのはなぜか。
- (事 務 局) 宇治市は独自で東宇治浄化センターを持っている。
城陽市などは京都府の施設で処理をしているが、宇治市は個別で施設を持っているためコストが高くなっている。
- (委 員) 府内他団体及び類似団体の情報がR5時点と古いのはなぜか。
- (事 務 局) 総務省が発表している現時点における最新のデータを採用している。
- (会 長) 新しいデータが入手できれば更新すること。
- (委 員) テレビ中継で土浦市（茨城県）の下水道陥没事故を見かけ、44年の管路だった。経営戦略の見直しに合わせて、古い管渠の更新に関する投資計画について見直しをしたほうがいいのではないか。
- (事 務 局) 下水道施設の維持管理については、P.14で示しているが、下水道管路の改築更新は、計画を立て、管路の中の点検を行ない、点検において、改築の必要性を検証し、改築工事を実施している。点検調査を重ねることで事故が起こる前に対策を実施することできることから、しっかりと点検調査に取り組むことで、費用を抑えつつ健全な状態を保っていきたい。
- (委 員) 何年ですべて完了するのか。点検調査のスピードを上げる必要があるのではないか。
- (事 務 局) 重要な管路、避難所に繋がる管路、緊急輸送路の下に埋設されている管路など、重点的に点検する管路とそれ以外の管路を差別化して、大きな事故につながらないように点検調査をこれまで以上にスピードアップして進めていきたい。
- (会 長) 更新が進まないのは、調査に時間がかかるのか、それとも作業を行う人が不足しているからなのか。
- (事 務 局) 八潮市の事故もあり、点検調査に関わる事業者は大きな仕事を抱えていると聞いている。宇治市としても点検調査を回していけるよう計画的に事業を進めていきたい。
- (委 員) 分流式下水道は合流式下水道と比較してどのようなメリットがあるのか。
- (事 務 局) 分流式下水道は汚水と雨水を分けることで、河川に流れる水質を保全する効果がある。
- (会 長) 合流式下水道と分流式下水道はどのように決まるのか。
- (事 務 局) 国においては公共用水域の水質保全を図るため、分流式下水道をすすめている。
早くから公共下水道の整備を進めてきた自治体の中には、合流式として大きな管渠で雨水と汚水を一緒に処理しているが、最近の公共下水道は

第1回宇治市公共下水道事業懇話会議事録

- 分けたほうが効率的とされている。
- (委 員) 収益的収支の中で計画からブレる項目はどのようなものか。
- (事 務 局) 突発的に必要となる修繕費などである。
- (委 員) 収益的収支はある程度正しく見積もることは可能か。
- (事 務 局) 予測しやすいため、あまりブレずに見積もることができる。今後は物価高騰等もあるため苦慮する項目もあると考えている。
- (委 員) 動力費の削減が大きいですが、簡単にできるものか。
- (事 務 局) 機器の更新に際して高効率の機器を導入することで、使用電力量が下がっている。
- (委 員) 4年間の点検調査で63kmは頑張っているという印象である。
今後の方針として、施設の更新や耐震化の推進とあるが何か新しい指標はあるのか。
- (事 務 局) 耐震化については国から上下水道耐震化計画の策定依頼があり、宇治市では令和7年1月に「宇治市上下水道耐震化計画」を策定している。
今後の指標として、整備率以外にも耐震化率などについての指標を検討していきたい。
- (委 員) 人口接続率は東宇治処理区と洛南処理区で10%ぐらいの差があるのはなぜか。
- (事 務 局) 東宇治処理区は高低差があるため、洛南処理区よりも整備が進んでいることから、接続率に差が出ている。
- (委 員) 洛南処理区の人口接続率は今後緩やかに上がっていくのか。計画はどうか。
- (事 務 局) 今後も洛南処理区の整備を進めていくことから、接続の依頼を引き続き行っていく。
洛南処理区における令和元年度の下水道整備率は94.1%、令和6年度は98.8%となっており、整備を進めてきたが、洛南処理区は最近建設されたものが多い。3年以内に下水道を接続していただくようお願いしているが、空き家など接続が難しい場合もあることから、人口接続率は徐々に上がっていくと考えている。
- (委 員) 下水道について、市政だよりなどでアピールしたり、子どもたちを対象とした施設の見学会を開催するなど、市民一人ひとりにもっと理解してもらえるように広報活動に取り組んでもらいたい。
- (事 務 局) 下水道事業のPRは必要と考えており、PR方法等を検討し取り組んでいきたい。
- (委 員) P.3の図について、市民の方は見ることが可能か。
- (事 務 局) 懇話会の資料はホームページへの掲載を予定しており、市民の方が見て

いただくことは可能である。

(委 員) 図を見ると道路の下が空洞になっているように見える。この図を見ると勘違いすると思う。

(事 務 局) 空洞の部分はマンホールを表しており、マンホール以外のところは土で埋まっている。

(委 員) 今後、管路を更新する際には、既存の管路を止めて更新するのか。それとも横に新しいものを敷設して更新するのか。

(事 務 局) 経済的な比較などを実施し、管の中に新しい管を構築する管更生という更新方法や、管更生ができないような場合は、同じ場所もしくは近くに新たに管路を敷設して更新を行う。

(2) 小委員会の設置について

(会 長) 今回議論する内容で、公共下水道事業の具体的な投資・財政計画について、より専門的な分析が必要となる。専門的な話を全体の懇話会で進めるのは時間的にも難しいものがあり、小委員会を設けてより詳細な内容を検討し、本懇話会に報告させていただくという形をとるのはどうか。

(委 員) 異議なし。

(会 長) 小委員会の委員については、私が選出するのはなかなか難しい部分もあり、事務局から提案いただけないか。

(事 務 局) 学識経験の観点から、西垣会長・山田（秀）委員、下水道事業の専門的観点から水田委員、経営の観点から森田委員の4名の方を小委員会の委員として提案したい。

(委 員) 異議なし。

(3) 今後のスケジュールについて

事務局より、今後のスケジュールに関する説明を行った。

6 閉会